

総合実習 I 期感想文

東京メディカル・スポーツ専門学校 理学療法士科 4年 M

今回の実習では、上溝整形外科リハビリクリニックで約7週間お世話になりました。前回の評価実習とは違い今回の実習では、検査・評価を行いその上で治療介入を行う機会が多くありました。バイザーの先生の方々の指導のもと治療介入をさせていただく機会も多くいただきました。また、自分が学校で学んだ手技やトレーナー活動中に経験した手技などを実際に患者様にさせていただくことが幾度かあり、その治療介入を行なって実際に効果が出るのかを見させていただいたことはこの先理学療法士として働く上でとても良い経験となりました。ただ、それでも自分が知らない介入方法や運動方法が多くありまだまだ経験が足りないと感じました。また関節可動域制限1つとっても何が原因なのかを様々な視点から考えられる知識が足りないとも感じました。ですが多方向からの考え方や見方をバイザーの先生がわかりやすく指導して下さったおかげで自身の思考の幅が広がり複数の方向から動きを見ることができるようになりました。評価や治療介入の実技に関しても患者様に実際にさせていただくだけでなく先生方の空いている時間にやり方を教えていただき理解を深めることができました。そして見学を通して疑問に思ったことなどは分かりやすいように教科書や資料などを用いて教えてくださりとても良い経験になりました。また今回の実習の自己学習として普段学校では詳しく行わない肩関節の機能や病態について勉強させていただきました。肩関節について学ぶ上でバイザーの先生が自宅から分かりやすい本を持ってきて下さったり肩関節の機能について分かりやすく教えて下さったので肩関節について学ぶのが楽しく感じられました。そして実際に肩に疾患がある患者様の評価や治療介入も経験させていただきました。肩関節については三次元で見る必要がありとても難しい箇所ではありましたが実際に痛みが軽減し、機能が改善した際にはとても喜びを感じました。今回7週間という短い期間ではありましたがとても多くのことを学び、多くの経験をさせていただきました。実習期間中わかりやすく指導して下さった先生、スタッフの方々にはとても感謝しております。また、学生の見学や身体に触る事を快く受け入れて下さった患者様にはとても感謝しております。なかでもケースとさせていただいた患者様は20分の治療時間のほとんどを使わせていただきました。その中でも嫌な顔一つせずに優しく受け入れて下さり最後の日には感謝のお言葉をくださいました。本当に心から御礼申し上げます。

今回の実習で自分には何が足りていなかったのかを考え次の実習に臨もうと思いました。

7週間の実習で至らぬ点も多かったと思いますが、知識・技術・考え方が身につき、実習に行く前よりも成長していることを実感しています。今回ご指導いただいた事や学ぶ事の楽しさを忘れずに次の実習、これからの臨床に活かしていきたいと思えます。

最後になりますが丁寧に指導して下さったバイザーの先生方、スタッフの方々、患者様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。